

送りがなプリント はってん①(ない・ます・よう)

なまえ

小6／ない・ます・よう の 形(2／5)

ひづけ

同じ ことばを ない・ます・よう の 形に する

れい 延びる(のびる)

ない

延びない

ます

延びます

よう

延びよう

かん字の あとの 送りがなは、形が かわっても 「もとの かたちの 送りがなの はじまり」から 書く。

ことばごとに、ない・ます・よう の 形に なるように かん字の あとに 送りがなを 書こう。

もとの かたち

ない

あつい から まどは しめない。

閉

閉める

ます

よる ねる まえに まどを しめます。

閉

(しめる)

よう

さむく なって きた。まどを しめよう。

閉

もとの かたち

ない

かれは ひとの ことばに したがわない。

従

従う

ます

わたしたちは きまりに したがいます。

従

(したがう)

よう

みんなで せんせいに したがおう。

従

もとの かたち

ない

この みせは ひとが おとずれない。

訪

訪れる

ます

はるは ことりが にわを おとずれます。

訪

(おとずれる)

よう

こんど はくぶつかんを おとずれよう。

訪

もとの かたち

ない

かれは まちがいを みとめない。

認

認める

ます

わたしは すなおに みとめます。

認

(みとめる)

よう

まちがえたら すなおに みとめよう。

認

できたら:3つの 形を 声に 出して、かん字の あとが どこから かわるか たしかめよう。

